

令和 7 年 6 月 3 日
港湾局参事官（技術監理・情報化）室
国土技術政策総合研究所

第 5 回「港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会」の開催 ～“新技術カタログ”第二弾の策定に向けて～

国土交通省港湾局では、設計段階からの新技術の更なる導入促進に向けた環境整備に取り組んでいます。この度、6月9日(月)に第5回「港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会」を開催し、全国的に共通する新たな現場ニーズ（「藻場・干潟造成」、「護岸嵩上げ等の気候変動適応」）に対応した“新技術カタログ”第二弾の策定に向けた検討を行います。

1. 日 時：令和7年6月9日(月) 13:00～15:00
2. 場 所：（一財）沿岸技術研究センター会議室
（東京都港区西新橋1丁目14番2号新橋エス・ワイビル5階）
3. 議事内容
 - ① 技術情報の応募結果の確認
 - ② “新技術カタログ”の策定に向けた検討
4. 委員名簿：別紙参照
5. その他
 - 本委員会は非公開ですが、冒頭のみカメラ撮りは可能です。撮影を希望される報道関係者は6月5日(木)12:00までに、以下のメールアドレスに、氏名(ふりがな)（※フルネーム）、所属、連絡先(電話番号、メールアドレス)をご連絡下さい。
送付先：hqt-gijutsukanrishitsu★gxb.mlit.go.jp（※「★」を「@」に置き換えてください）
なお、取得した個人情報は適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。
登録された方は、当日は12:50までに直接開催場所までお越し下さい。
 - 開催結果につきましては、後日、以下の国土交通省ホームページに掲載いたします。
https://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_fr5_000098.html

（参考）設計段階からの新技術の更なる導入促進に向けた取組み



【国土交通省港湾局 HP】
港湾工事における設計段階からの新技術導入促進

<問合せ先>

港湾局参事官（技術監理・情報化）室 須山、畑端、草山

代表：03-5253-8111（内線 46612、46635）、直通：03-5253-8682



港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会

委員名簿

	氏名	所属
委員長	善 功企	九州大学 名誉教授
委員	岩波 光保	東京科学大学 環境・社会理工学院土木・環境工学系 教授
委員	菊池 喜昭	東京理科大学 創域理工学部社会基盤工学科 嘱託教授
委員	菅野 高弘	名古屋工業大学 高度防災工学研究センター 客員教授
委員	鈴木 崇之	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 都市地域社会専攻 教授
事務局	国土交通省港湾局参事官(技術監理・情報化)室	
	国土交通省国土技術政策総合研究所港湾・沿岸海洋研究部	

設計段階からの新技術の更なる導入促進に向けた取組み

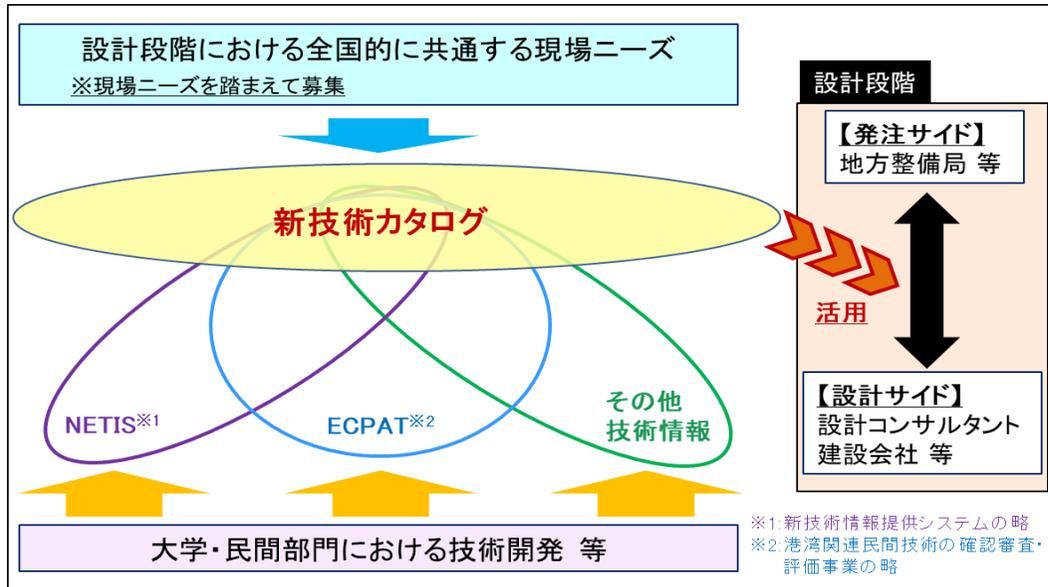
【設計段階からの新技術の導入に関する現況と課題】

- 港湾分野では、激甚化・頻発化する自然災害や気候変動への対応、生産性向上、カーボンニュートラルの実現など、多様化・複雑化する政策ニーズへの確に対応していくために、港湾工事における新技術の更なる導入促進が求められている。
- 従前より、港湾工事における設計段階からの新技術の導入に向け、地方整備局等における技術的な課題の克服に向けた取組み、大学・民間部門(建設会社・設計コンサルタント等)における技術開発等が進められている一方、それら各取組みが必ずしも有機的に行われていないことから、現場ニーズに対応した更なる技術情報の共有化・活用を図る必要がある。

【新技術の更なる導入に向けた環境整備の取組み】

- 新技術の更なる導入促進に向け、「港湾工事における設計段階からの新技術導入促進委員会」を踏まえ、令和6年3月に“新技術カタログ”第1弾として、「栈橋上部工の施工作业効率化」、「吸い出し防止対策」に対応する29件の技術情報を公表。
- 今般、新たな現場ニーズ(「藻場・干潟造成」、「護岸嵩上げ等の気候変動適応」)も加えて、技術情報を募集し、“新技術カタログ”第2弾の策定に向けて取り組んでいるところ。

【“新技術カタログ”の利活用イメージ】



【“新技術カタログ”第2弾策定に向けた今後の進め方】

日程	項目
令和7年2月13日 (第4回委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に共通するニーズの抽出 ● 技術情報の募集内容の確認 ● 新技術カタログの改善について検討
令和7年3月21日	<ul style="list-style-type: none"> ● “現場ニーズに対応する技術情報”の募集 ● 募集期間:3月21日(金)～4月25日(金)12時(正午)
令和7年6月9日 (第5回委員会)	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術情報の応募結果の確認 ● “新技術カタログ”の策定に向けた検討
令和7年7月頃	<ul style="list-style-type: none"> ● “新技術カタログ”第2弾公表